

第 1 8 回串間市農業委員会総会

日 時 平成 2 7 年 1 1 月 2 7 日 午後 3 時

会 場 串間市役所 3 階大会議室

出席委員 2 1 名

1 番 (会長)	川崎 善昭	9 番	日高 善次	1 6 番	島田 俊満
2 番	井手 重則	1 0 番	瀬治山満弘	1 7 番	金川 勇次
3 番	安田 敬司	1 1 番	鈴木 信	1 8 番	福田 孝義
5 番	内田 政秀	1 2 番	渡邊 豊雄	1 9 番	野邊 秀男
6 番	武田 康典	1 3 番	谷口 利則	2 0 番	山下 貴義
7 番	塔尾 秀雄	1 4 番	野邊 俊博	2 1 番	鳴海 正文
8 番	瀬治山秋美	1 5 番	吉田 友子	2 2 番	岩下 哲見

欠席委員 0 名

議事録署名委員 1 0 番 瀬治山満弘、 1 5 番 吉田 友子

議事日程

第 1	議案第 1 0 5 号	農地法第 3 条の規定による許可申請について
第 2	議案第 1 0 6 号	農地法第 4 条の規定による許可申請に対する意見について
第 3	議案第 1 0 7 号	農地法第 5 条の規定による許可申請に対する意見について
第 4	議案第 1 0 8 号	非農地証明願いについて
第 5	議案第 1 0 9 号	農用地利用集積計画の承認について (所有権移転)
第 6	議案第 1 1 0 号	農用地利用集積計画の承認について (利用権設定・中間管理機構)
第 7	議案第 1 1 1 号	農用地利用配分計画 (案) に係る意見聴取について

会 長 それでは、只今から、第 18 回農業委員会総会を開催致します。本日の出席委員は、21 名でございます。

議事録署名委員の指名

会 長 本総会での議事録署名委員の指名をいたします。
議事録署名委員は、10 番 瀬治山満弘 委員、15 番 吉田友子 委員にお願いします。

会 長 ただちに審議に入ります。今月は、合意解約の届出がなかったので、報告案件はございません。

議案第 105 号：農地法第 3 条の規定による許可申請について

会 長 まず、議案第 105 号は、農地法第 3 条の規定による許可申請について、であります。議案第 105 号、受付番号 1 番から 8 番の 8 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局 議案第 105 号、農地法第 3 条の規定による許可申請は受付番号 1 番から 8 番の所有権移転に関する 8 件であります。事務局によります申請書類の審査において、「許可することができない」と定めてあります、農地法第 3 条第 2 項各号の不許可の事由につきましては、

- 「第 1 号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が行う農業経営に必要な機械の所有状況・労働力・技術面からみて、現在の経営農地と今回の許可申請農地を含めたすべての耕作農地を効率的に利用し、農業経営を行うことができないと認められる場合
- 「第 3 号」 今回の許可申請内容が、信託の引受けによる権利の取得であること
- 「第 4 号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が、現在の経営農地と申請農地すべてで行う農業経営に必要な常時従事がないと認められる場合
- 「第 5 号」 権利取得を含めた経営農地が、50 アールに達しない場合
- 「第 6 号」 今回の申請農地を、転貸しようとする場合
- 「第 7 号」 周辺の地域における農地等の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障を生ずるおそれがあると認められる場合、

であり、今回の許可申請受付番号 1 番から 8 番の 8 件については、農地法第 3 条第 2 項各号に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると思われます。

事務局

また、受付番号3番の申請地については、3名の共有地ではありますが、全員の同意を得ており、問題ありません。皆様のご審議をよろしくお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に対しまして、関係地区委員会から、調査結果の報告、並びに補足説明をお願いします。それでは、福島地区委員会より、受付番号1番から4番の4件の説明をお願いいたします。

1 1 番

議案第105号、農地法第3条の規定による許可申請について、福島地区は受付番号1番から4番の所有権移転に関する4件であります。まず、受付番号1番につきましては、父から後継者である息子への贈与であります。申請地周辺は宅地化が進んでいる地域であります。取得後も食用甘藷を作付する計画であります。農業従事状況については、本人が300日以上、父と息子の従事もあるため、機械保有・労働力・技術面については問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。次に、受付番号2番につきましては、渡人は非農家で管理できないため、受人と売買するものです。受人は、申請地に食用甘藷を作付する計画であります。受人世帯においては、毎年約1.5haの農地に食用甘藷を作付し、農業従事状況においても本人が年間300日以上、常時従事があり、妻の従事もある為、機械保有・労働力・技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。又、申請地の周辺は食用甘藷の作付地帯であり、周囲にも農地はないため問題ありません。次に、受付番号3番につきましては、渡人である3名の共有者ともに遠方に居住し管理できないことから、受人と売買するものです。受人は、申請地に野菜を作付する計画であり、毎年、水稻や食用甘藷、みかんを栽培しており問題ないと考えます。又、農業従事状況につきましても、本人が150日以上、父と妻の従事もある為、機械保有・労働力・技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。又、農薬散布等に当たっては、散布時期や量に配慮されるとのことであり、問題ありません。次に、受付番号4番につきましては、渡人は離農するため、親族である受人へ贈与するものです。受人世帯においては、毎年、水稻や施設胡瓜及び野菜を作付しており、申請地には自家製の白菜を作付する計画であります。又、農業従事状況については、本人が250日以上、妻と母の従事もある為、機械保有・労働力・技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。又、申請地周辺は山林地帯ですが、農薬の使用等についても、十分配慮されるとのことであり問題ありません。以上、福島地区委員会において、受付番号1番から4番の4件を慎重審議してまいりましたが、農地法第3条の許可要件を満たしており何も問題ありません。ご審議方よろしくお願いいたします。

会 長

次に、大東地区委員会より、受付番号5番の1件の説明をお願いします。

1 4 番

議案第105号、農地法第3条の規定による許可申請について、大東地区は受付番号5番の所有権移転に関する1件であります。受付番号5番につきましては、申請地は受人自宅の隣接地であり樹園地として管理していくものです。受人世帯は、食用甘藷と普通水稻の専業農家であり、トラクター等の保有もある為、機械保有・労働力・技術面についても問題はなく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。以上、大東地区委員会において、受付番号5番の1件を慎重審議してまいりましたが、農地法第3条の許可要件を満たしており何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

会 長

次に、本城地区委員会より、受付番号6番と7番の2件の説明をお願いします。

1 7 番

議案第105号、農地法第3条の規定による許可申請について、本城地区は受付番号6番と7番の所有権移転に関する2件であります。まず、受付番号6番につきましては、渡人は非農家で管理できないことから、受人へ売買するものです。受人世帯においては、毎年水稻、ゴボウ、飼料作物を作付しており、申請地には水稻を作付する計画であります。農業従事状況においても、本人と妻ともに250日以上農業従事があり、機械保有・労働力・技術面については問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。又、申請地周辺一帯は水稻地帯であり問題ありません。次に、受付番号7番につきましても、渡人は高齢で管理できないため、受人へ売買するものです。受人世帯においては、毎年水稻、施設胡瓜、野菜を作付しており、申請地には水稻を作付する計画であります。農業従事状況につきましても、本人が300日以上、妻と両親の従事もある為、機械保有・労働力・技術面についても問題はなく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。又、申請地周辺一帯は水稻地帯であり問題ありません。以上、担当委員から本城地区委員会において報告を受け、受付番号6番と7番の所有権移転に関する2件を慎重審議してまいりましたが、農地法第3条の許可要件を満たしており何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

会 長

次に、市木地区委員会より、受付番号8番の1件の説明をお願いします。

2 2 番

議案第105号、農地法第3条の規定による許可申請について、市木地区は受付番号8番の所有権移転に関する1件であります。受付番号8番につきましては、渡人は高齢で管理できないため、受人へ売買し栗を栽培するものです。受人世帯においては、毎年、水稻、野菜等を作付しており、農業従事についても、本人が200日以上ある為、機械保有・労働力・技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。又、農薬散布等については十分周囲に配慮されるところであり問題ありません。以上、市木地区委員会において担当委員から報告を受け、受付番号8番の所有権移転に関する1件を慎重審議してまいりましたが、農地法第3条の許可要件を満たしており何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今から、議案第１０５号、受付番号１番から８番の８件について、質疑に入ります。質疑はございませんか？

（ なしの声 ）

会 長

ないようですので、議案第１０５号、受付番号１番から８番の８件を決定してよろしいでしょうか。

（ 異議なしの声 ）

会 長

異議なしということですので、議案第１０５号、受付番号１番から８番の８件については、許可することに決定します。

議案第１０６号：農地法第４条の規定による許可申請に対する意見について

会 長

次に、議案第１０６号は、農地法第４条第１項の規定による許可申請に対する意見について、であります。それでは、議案第１０６号、受付番号１番の１件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第１０６号、農地法第４条の規定による許可申請は受付番号１番の１件であります。農地法第４条第２項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、

「１号イ」 今回の許可申請農地が農用区域内にある農地である場合

「１号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合

「２号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合

「３号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実と認められない場合

「４号」 許可申請地を転用することにより、土砂流失・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合、であります。

事務局

受付番号１番の１件についての申請地農地区分は、農地法第４条第２項第１号イにあります、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性が低い農地であるため「第２種農地」に区分されますので、農地法第４条第２項１号ロには該当しておりません。したがいまして、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号１番の１件につきましては、農地法第４条第２項各号に該当していないため、許可要件の全てを満たしていると思われます。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。
只今の説明に関連して、関係地区委員会から調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。
それでは、本城地区委員会より受付番号１番の１件の説明をお願いします。

１ ７ 番

議案第１０６号、農地法第４条の規定による許可申請について、本城地区は受付番号１番の１件であります。受付番号１番の申請地については、周囲を山林に囲まれ、農地として管理していくことが困難である為、山林として管理していくものです。山林の管理については、定期的の下払い、枝打ち、間伐等の作業を行い管理していけるため何等問題ないと考えます。以上、本城地区委員会において担当委員の報告を受け、受付番号１番の１件を慎重審議してきましたが、農地法第４条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしくをお願いします。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。

会 長

これより、議案第１０６号、受付番号１番の１件について質疑に入ります。質疑はございませんか？

（ なしの声 ）

会 長

ないようですので、議案第１０６号、受付番号１番の１件について、決定してよろしいでしょうか。

（ 異議なしの声 ）

会 長

異議なしということですので、議案第１０６号、受付番号１番の１件は、許可相当とし、意見を付して県へ進達いたします。

議案第 107 号：農地法第 5 条の規定による許可申請に対する意見について

会 長

次に、議案第 107 号は、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請に対する意見について、であります。それでは、議案第 107 号、受付番号 1 番から 4 番の 4 件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 107 号、農地法第 5 条の規定による許可申請は受付番号 1 番から 4 番の所有権移転に関する 4 件であります。農地法第 5 条第 2 項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、

「1 号イ」 今回の許可申請農地が農用地区域内にある農地である場合

「1 号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合

「2 号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合

「3 号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実に認められない場合

「4 号」 許可申請地を転用することにより、土砂流失・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合、であります。

受付番号 1 番と 4 番の 2 件の申請地農地区分は、農地法第 5 条第 2 項第 1 号イにあります、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない小集団の生産性が低い農地であるため「第 2 種農地」に区分されますので、農地法第 5 条第 2 項 1 号ロには該当しておりません。受付番号 2 番と 3 番の 2 件の申請地農地区分は、農地法第 5 条第 2 項第 1 号イにあります、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、市街地の区域内、又は市街地化の傾向が著しい区域内にある農地であり、都市計画法 第 8 条第 1 項 1 号に規定されている、住居の環境を保護するため定める地域「第一種住居地域」に該当し、「第 3 種農地」に区分されますので、農地法第 5 条第 2 項 1 号ロには該当しておりません。したがって、事務局により申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号 1 番から 4 番の 4 件につきましては、許可要件を全て満たしていると思われます。また、受付番号 4 番の申請地については、3 名の共有地であります、全員の同意を得ており、問題ありません。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます。

会 長

説明はお聞きのとおりでございます。只今の説明に関連して、関係地区委員会から、調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。

それでは、福島地区委員会より受付番号 1 番から 4 番の 4 件の説明をお願いします。

1 1 番

議案第 1 0 7 号、農地法第 5 条の規定による許可申請について、福島地区は受付番号 1 番から 4 番の 4 件であります。まず、受付番号 1 番については、申請地は高台で立地条件が良いことから、受人は貸事務所を建設して企業と賃貸契約し、収入の安定を図る計画であります。周囲に農地は無く、土砂流失を防ぐためブロック塀を設置し、汚水は浄化槽を経由し雨水とともに県道側溝へ流す計画であり問題ありません。次に、受付番号 2 番につきましては、受人は現在、家族 5 人でアパートに居住しており、子供の成長に伴い手狭になったことから申請地に住宅を建築する計画であります。周囲にはブロックを積み土砂流失防止に努め、生活雑排水は下水道につながため問題ないと思います。次に、受付番号 3 番につきましては、申請地はこれまで受人の住宅と通路として賃貸して利用してきたが、今回購入するに当たり農地であることが発覚したため今回申請したものです。近隣は住宅街で隣接地は住宅が建設されており、排水は東側下水管に流しており問題ありません。次に、受付番号 4 番については、受人は申請地の隣接地に移住する計画で、申請地には浄化槽が設置されている為、今回同時に購入するものです。雨水等は隣接する側溝に流し、隣接地は宅地や雑種地で高い位置にありますので影響を与えることはありません。以上、福島地区委員会において、受付番号 1 番から 4 番の 4 件を慎重審議してきましたが、農地法第 5 条の許可要件を満たしているため、何も問題ありません。ご審議方よろしく願います。

会 長

説明はお聞きのとおりでございます。

これより、議案第 1 0 7 号、受付番号 1 番から 4 番の 4 件について質疑に入ります。

質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長

ないようですので、議案第 1 0 7 号、受付番号 1 番から 4 番の 4 件について、決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということでありますので、議案第１０７号、受付番号１番から４番の４件は、許可相当とし、意見を付して県へ進達いたします。

議案第１０８号：非農地証明願いについて

会 長

次に、議案第１０８号は、非農地証明願いについて、であります。それでは、議案第１０８号、受付番号１番と２番の２件を議題といたします。まず、事務局からの提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第１０８号非農地証明願いについては、受付番号１番と２番の２件であります。非農地証明願につきましては、登記簿上の地目が農地である土地について、農地法第２条第１項にあります、耕作の目的に供される農地の定義に該当しないために、農地以外の地目に変更するための証明願となります。まず、受付番号１番の申請地は周囲を原野に囲まれ、農地として管理していくことが困難で、現況は原野の状態にあります。昭和５１年７月５日施行『宮崎県証明書交付手続要領』にあります、非農地認定基準の『１０年以上耕作放棄されかつ将来的にも農地として使用することが困難な土地のうち次の全ての要件を満たしていること（ア）農業振興地域の整備に関する法律に基づく農業振興地域整備計画における農用区域内の土地でないこと、（イ）農業生産力の高い農地、土地改良事業等の農業に対する公共投資の対象となった農地でないこと、（ウ）集団性のある優良農地内でないこと』の全ての要件に該当する申請となっており、申請書類上において問題ありません。次に、受付番号２番につきましても現況は宅地であり、非農地認定基準の『農地法施行（昭和２７年１０月２１日）以前から農地以外の土地であったもの』に該当する申請となっており、申請書類上におきましては問題ないと思われます。又、非農地証明願につきましては、該当地が農地でないという証明になりますので、名義が変更されるわけではございません。皆様のご審議をお願いします。以上でございます。

会 長

説明はお聞きのとおりでございます。只今の説明に関連して、関係地区委員会から、調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。それでは、大東地区委員会より受付番号１番の１件の説明をお願いします。

１４番

議案第１０８号、非農地証明願いについて、大東地区は受付番号１番の１件でございます。担当調査委員の報告によりますと、申請地は１０年以上耕作放棄地され原野の状態になっており、周囲も山林原野化している為、農業を行うことは困難な状態にありますので、農地法第２条に規定する農地の定義に当たりません。

1 4 番 以上、大束地区において、受付番号 1 番の 1 件について慎重審議してきましたが、非農地証明の該当要件を満たしている為、何等問題ありません。本会議でのご審議方お願い致します。

会 長 次に、市木地区委員会より、受付番号 2 番の 1 件の説明をお願いします。

2 2 番 議案第 1 0 8 号、非農地証明願いについて、市木地区は、受付番号 2 番の 1 件であります。現地を確認したところ申請地は宅地及び山林化しており、農地に復元して利用することは困難な状態でありました。市木地区委員会において、受付番号 2 番の 1 件について慎重審議してまいりましたが、非農地証明の該当要件を満たしているため何も問題はあります。ご審議方よろしくお願いします。

会 長 説明はお聞きのとおりでございます。
これより、議案第 1 0 8 号、受付番号 1 番と 2 番の 2 件について質疑に入ります。
質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長 ないようですので、議案第 1 0 8 号、受付番号 1 番と 2 番の 2 件について、決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会長 異議なしということですので、議案第 1 0 8 号、受付番号 1 番と 2 番の 2 件は、決定して非農地証明を発行いたします。

農用地利用集積計画の承認に伴う市長部局提案

会 長 次に、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、であります。審議に入ります前にあらかじめ、市からの提出議案の面積・件数等を事務局より説明させます。

事務局

平成２７年１１月分につきましては、串間市長より平成２７年１１月１２日付で、農業経営基盤強化促進法第１８条第１項の規定による農用地利用集積計画の決定が求められております。内容につきましては、議案第１０９号・所有権移転が２件・面積が１２，６５７㎡、議案第１１０号・受人が農地中間管理機構分である利用権設定が１件・面積が２，４１２㎡であります。以上でございます。

会 長

説明はお聞きのとおりであります。それでは、ただいまから市からの提案について、審議に入ります。

議案第１０９号：農用地利用集積計画の承認について 所有権移転

会 長

議案第１０９号は、農用地利用集積計画の所有権移転の承認について、であります。審議に入ります前に、当該議案に１０番委員に関係する事案がありますので、農業委員会等に関する法律第２４条の「議事参与の制限」により、当該議案の開始から終了までの退席をお願いします。また、関係議案の終了後に入室・着席をお願いします。暫時休憩いたします。

（１０番委員退席）

会 長

休憩前に引き続き会議を開きます。

会 長

それでは、議案第１０９号、受付番号１番と２番の２件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第１０９号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分は、受付番号１番と２番の２件であります。この２件について、説明いたします。「農用地利用集積計画の承認の該当要件」につきましては、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項、
第１号） 今回の農用地利用集積計画の内容が「地域の農業構造の現状及びその見通しのもとに、地域農業を担う効率的かつ安定的な農業経営体の育成とともに、意欲と能力のある者が農業経営の発展を目指すにあたってこれを支援する農業経営基盤強化促進事業その他の措置を総合的に実施する。」とある串間市の基本構想に適合するものであること。

事務局

第2号)イ 耕作又は養畜の事業に供すべき農用地のすべてを効率的に利用して耕作又は養畜の事業を行うと認められること。

第2号)ロ 耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められること。であり、事務局によります申請書類の審査において、受付番号1番と2番の2件については、農業経営基盤強化促進法第18条第3項各号の該当要件のすべてを満たしていると思われます。又、受付番号1番は農地保有合理化事業を活用した売買であることを申し添えます。皆様のご審議をお願いいたします。以上でございます

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。それでは、福島地区委員会より、受付番号1番と2番の2件の説明をお願いします。

1 1 番

議案第109号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、福島地区は受付番号1番と2番の2件であります。この2件全てにおいて、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械の保有状況・労働力・技術面からみて、問題なく効率的な農業経営を行えること、十分な農業従事があることなどの該当要件を、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号1番と2番の2件については、該当要件をすべて満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。

これより、議案第109号、受付番号1番と2番の2件について、質疑に入ります。

質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長

ないようでございますので、議案109号、受付番号1番と2番の2件を決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということですので、議案第１０９号、受付番号１番と２番の２件について、決定して市へ通知します。暫時休憩いたします。

（１０番委員入室）

議案第１１０号：農用地利用集積計画の承認について 利用権設定・中間管理機構分

会 長

次に、議案第１１０号は、農用地利用集積計画の利用権設定・中間管理機構分について、であります。それでは、議案第１１０号、受付番号１番の１件を議題といたしまして、審議決定を行いたいと思います。まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第１１０号は、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、（利用権設定、農地中間管理機構分）であります。今回の譲受人が農地中間管理機構分につきましては、受付番号１番の１件であります。この１件について、説明いたします。「農用地利用集積計画承認の該当要件」につきましては、先程、議案第１０９号で説明しました農業経営基盤強化促進法第１８条第３項各号のとおりであります。農業経営基盤強化促進法第１８条第３項第２号の但し書きにより、農地中間管理機構が農地中間管理事業の実施によって利用権設定を受ける場合には、同法第１８条第３項第２号イとロにあります「農用地の全てを効率的に利用し、農作業に常時従事することが認められること」の要件に該当しなくても良いとされていることから、すべてを満たしていると思われまふ。皆さんのご審議をお願いいたします。以上でございます

会 長

説明は、お聞きのとおりであります。只今の説明に対しまして、関係地区委員会から調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。それでは、福島地区委員会より、受付番号１番の１件の説明をお願いします。

１１番

議案第１１０号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、農地中間管理機構分、福島地区は受付番号１番の１件であります。この１件においては、宮崎県農地中間管理機構が１０年以上借り受け、地域の面的集積等に取り組む事業でございます。地権者等に確認したところ間違いのないこととであり、福島地区委員会において慎重審議してまいりましたが、受付番号１番の１件については、該当要件を満たしているため、なにも問題ありません。ご審議方お願いします。以上でございます。

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。

これより、議案第１１０号、受付番号１番の１件について、質疑に入ります。

会 長

質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長

ないようでございますので、議案 1 1 0 号、受付番号 1 番の 1 件を決定してよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

会 長

異議なしということでありますので、議案第 1 1 0 号、受付番号 1 番の 1 件について、決定して市へ通知します。
暫時休憩いたします。

会 長

休憩前に引き続き会議を開きます。

議案第 1 1 1 号：農用地利用配分計画（案）に係る意見聴取について

会 長

議案第 1 1 1 号は、「西方・田口地区農用地利用配分計画（案）」に係る意見聴取について、であります。それでは、農業振興課・農政企画係長からの説明を求めます。

農業振興課

「農業振興課・農政企画係長 西方・田口地区農用地利用配分計画（案）説明」

会 長

説明は、お聞きのとおりでございます。
それでは、只今の説明に対し、質疑に入ります。
質疑はございませんか。

(なしの声)

会 長

ないようですので、担当課の退席を求めます。
暫時休憩します。

(農政企画係職員退席)

会 長

休憩前に引き続き会議を開きます。それでは、只今の説明に対しまして、委員の皆さんより意見を求めたいと思いますが、まず、意見聴取の内容が福島地区管内の配分計画（案）であり、その受人として適格者かどうかという事になりますので、福島地区より意見を求めたいと思います。

3 番

今回の西方・田口地区配分計画（案）が福島地区管内の取組でありますので、意見を述べさせていただきます。「西方・田口地区農用地利用配分計画（案）」につきましては、計画にある賃借権の設定を受ける者が、耕作又は養畜の事業に供すべき農用地の全てを効率的に利用して耕作又は養畜の事業を行うと認められること、又、耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められること、を備えているかどうかについて、担当委員の意見を聞き取り、福島地区委員会で協議してまいりましたが、全てにおいて問題ないと思われます。以上、報告します。

会 長

3番委員からだされた意見につきましては、先ほど説明のあった配分計画（案）にある借受者が、要件をすべて満たしているので問題ないとの意見でありました。他に意見はありませんか。

（なしの声）

会 長

それでは、お諮りいたします。

3番委員からだされた意見を付して、「西方・田口地区農用地利用配分計画（案）」が妥当であると市へ通知することに、異議はありませんか。

（ 異議なしの声 ）

会 長

異議なしということですので、出された意見を付して農用地利用配分計画（案）が妥当であると通知します。

以上で、先に送付いたしました議案の審議は全部終了いたしました。慎重・審議、誠にありがとうございました。